

# 愛 労 連

## 愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町8-18  
労働会館第2ビル  
TEL 052-871-5433  
FAX 052-871-5618  
e-mail airouren@lilac.ocn.ne.jp  
発行人 見崎徳弘

第77号 1999年9月20日

## 第21回 定期大会特集号

### 愛労連第21回定期大会



愛労連は、第二回定期大会を名古屋市南区・サン笠寺ホールで開催しました。大会では、戦争法反対や愛知県知事選挙など、国民・県民の共同がなくてはならないことに確信を持ち、職場や地域から暮らしと雇用を守り、憲法擁護・政治の転換を実現する運動に全力を挙げようという意思統一しました。

# 雇用確保・介護拡充・戦争法発動阻止・県政の民主的転換

## 四課題で

### 秋闘

# 大運動を!

## 一致する要求で大同団結を

大会では、小林洋一全労連議長が来賓挨拶し、「県知事選挙や地労委裁判など、愛労連をはじめとする愛知のたたかいは、全国を大きく励ましている。」と激励しました。

### 労働組合の出番!

阿部精六愛労連議長は、戦後最悪の失業状態が続く中、リストラ・生活苦による中高年の自殺者が増大。労働者・国民のおかれている厳しい状況を述べ、それだけに愛労連への労働相談でも新聞の調査でも、労働組合への期待が高まっていると述べ、愛労連運動一〇年を踏まえ壮大な運動の展開を呼びかけました。

### 4つの課題で大運動を

見崎事務局長は、二〇〇〇年度運動方針と秋年末闘争方針を提案。結成一〇年の財産を踏まえ、「すべての労働者・労働組合との対話と共同」でこの秋 ①雇



用・反失業・リストラ対策闘争 ②介護保険の改善 年金改善反対など社会保障闘争 ③憲法違反の戦争法の発動阻止 ④補助金カット反対、万博・空港を見直し、など県政の民主的転換の四つの大運動を展開することを提案しました。また賃金闘争では、未組織労働者や不安定雇用労働者を幅広く結集する春闘をめざす立場から、賃金の底上げ・最低保障をより強化してい

く方針を提起しました。討論では三名の代議員が、大会方針を豊にする立場で発言し、たたかいへの決意あふれた大会となりました。また、争議団紹介では、「国鉄闘争を始め、すべての争議の早期解決」を確認し、JMIUに加盟したばかりの木村刃物の仲間も参加者から激励されました。大会方針、新役員などを決定し終わりました。

### 九九年度新役員紹介

副議長	阿部 精六	全国一般
議長	伊豆原 直	自治労連
	加藤 瑞美子	港地区労
	土井 照雄	港地区労
	中川 量機	国公
	羽根 克明	自治労連
	堀川 侑男	運輸一般
	渡辺 博子	婦人協(愛高教)
事務局次長	伊藤 徳弘	愛高教
事務局次長	伊藤 心づ	建設一般
幹事	永井 和彦	自治労連
	青木 信一	全動労
	板倉 邦之	年金者組合
	牛田 正美	全印総連
	大田 孝雄	タクシィ協議会
	尾崎 吉政	東三河労連
	小野 能弘	検査労連
	河井 孝徳	さすな
	国村 佐一	全国一般
	樽松 佑文	全労連
	近藤 啓志	愛高教
	杉江 功	知多地域労連
	田上 光徳	自治労連
	田中 道代	愛労連職組
	玉置 重光	千種・名東労連
	仲野 智	福保労
	原田 敏之	JMIU
	平田 茂	尾中地区労連
	堀 勝	名中センター
	松原 勝己	豊田・加茂労連
	宮沢 久孔	国公
	伊藤 景子	婦人協(自治労連)
	森 雅子	青年協(自治労連)
会計監査	加藤 栄治	名中センター
	牧野 浩	国公
	山田 喜久雄	銀産労

退任された役員のみなさん  
副議長 三宅一光(自治労連)、副議長 大橋路代(婦人協・愛高教)  
幹事 伊藤恵美子(建設一般)、幹事 杉本一夫(千種・名東労連)  
会計監査 森岡正

## 介護キャラバン

10月18日〜22日  
88自治体訪問

## の成功を!

**代議員発言要旨**

討論では、戦後最悪の不況が続く中、低額回答、労働条件の切り下げ、人員削減などが、職場内外での対話と共同を広げる中、運動を前進させた貴重な取り組みが報告されました。また、逃げ場がない厳しい実態が労働者の決意を促し、立き寝入りせず労働組合を結成し、たたかう仲間が増えていくとの発言もありました。情勢は激変。大胆に「共同」を広げれば、要求前進のチャンスがある。たたかう決意のこもった大会となりました。

# 暮らしと雇用を守り

## 憲法擁護・政治革新へ

### 厳しい賃金・雇用状況だが

### 攻勢的にたたかえば要求は前進



一宮芳連  
村瀬代議員

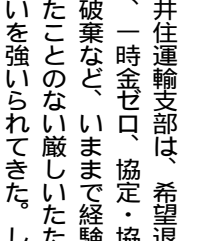
来春闘に向けて、春闘アングレトの指示が出てきている。方針案では地域や未組織に大きく打っていかない、個別職場でのたたかいだけで、もう情勢は切り開いていけないと提案されているが、具体的にどう取り組んでいくのか、議論が必要。

一年前にも「絶対対話と共同」の運動が提起されたが十分な総括がされていない。方針に見合った議論をし、具体化を図って欲しい。



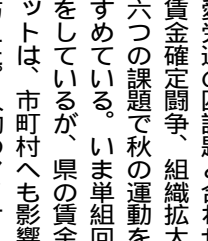
福原代議員

春闘で交渉して壁にぶつかると、賃上げは定算のみ、人員削減など逆提案がされ、壁を突破するのは本当に難しい。人勤の影響も当り、秋の一時金闘争も困難を強いられそう。この秋の職場の運動とあわせて、大きな流れをつくる運動の結合が必要。職場の思いは二分されているが、堅固としたたたかう方針を提起した時は要求が前進した。



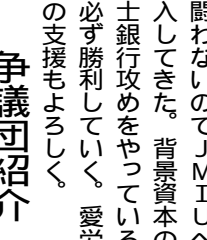
愛知国公  
鬼頭代議員

人勤では、地域調整手当の改善を見送らせることができた。しかし、史上初めての賃金が前年ベースを下回った最悪の報告がでた。この結果は、九九春闘が史上最悪の結果に終わったこと、労働法制改善にみられる動向、雇用の進行、リストラ・合理化、雇用の深刻化のことで、民間の職場実態に否応なく、影響を与えていることだ。改めて賃金闘争は、官民一体となつてたたかうことが必要だと確認したい。政府や人事院に対するたたかいはも重宝。



運輸一般  
藍原代議員

運輸・鉄道一般と建設一般が組織合同し、「建交労」になるよう頑張る。



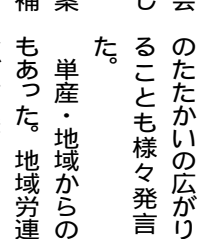
井田代議員

井田運輸支部は、希望退職一時金ゼロ、協定・協約破棄など、いままでも経験したことがない厳しいたたかいを強いられ、たたかいたが、強いられた。しかし、かき集めて交差しての愛労連の仲間や支援のおかげで、ついに三月末、協定・協約破棄の撤回を勝ち取った。この中で企業内だけのたたかいはダメで、共同を広げたことが重要だと認識した。争議では、組合が政策を持ち、親会社や背景資本を攻めていくべきだと痛感した。



自治労連  
柿内代議員

愛労連の四課題と合わせて賃金確定闘争、組織拡大の六つの課題で秋の運動をすすめている。いま単組回りをしているが、果の賃金カットは、市町村へも影響を与えた。人勤のマイナス動向は多くの組合に、あきらめや情勢だから仕方ないという気持ちにさせている。この気持ちを怒りに変える運動にしていきたい。確定闘争では家族や子どもの秋の署名を提起している。



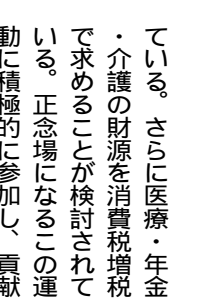
加藤代議員

この間のたたかいで八月以内の夜勤協定の運動では、幹部が看護婦の悩みも聞きながら取り組みをすすめる大きな運動にしてきた。

### 情勢は大きく変化！ おもいきり対話と共同を広げよう

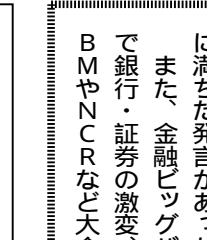


自治労連  
中川代議員



年金者  
金屋代議員

先々の通常国会では、憲法が次々に通され、一見やられたように見えがちだが、地域は激変している。知事選挙や一地方選挙でその姿がよく見えた。革新つぎの力が崩壊し、「戦後第二の革新自治体建設の到来期を迎えた」と言われている。名古屋市議会でも自民党議事団が、「地域経済をつぶすな」の意見書を出した。市医師会長が「乳児医療の拡大」を陳情した。自民党を支える層も大きく変わってきている。地域で矛盾をいつそう深めている介護保険は、三八〇〇億円の負担増を検討している。自民党が譲歩し始める。介護の学習会をすれば、一〇〇％成功する程だ。介護問題は自民党政治の弁慶の泣きどころ。大いに攻めていこう。



建設一般  
倉知代議員

いま人が集まるのは介護保険。私の住む地域で、区長が呼びかけて勉強会をやつたら九〇人も集まった。年金者組合も地域で学習会をやっているが、いつも予想に反してたくさんの方が集まってくる。世論を大きく変えるチャンスだ。

年金は二〇年間で徐々に改善され、こんどの五カ年間で支給額が三〇％カットされたことになる。社会保障の現在、将来不安は、国民の中にみなが広がっている。さらに医療・年金・介護の財源を消費税増徴で求めることが検討されている。正念場になるこの運動に積極的に参加し、貢献したい。



戦後最悪の失業状態が続く中で迎えた今日の大会では、これからのたたかいを具体化し、全組合員が参加できる方針を練り上げることにあります。

状況にあります。特に四〇代・五〇代の生活苦による自殺は昨年の一・七倍に倍増し、リストラによる犠牲の姿と言えます。今朝の朝日新聞によれば、組合の役割に四九％が期待する三・四・六％の期待しないを大きく上

がいない」といっています。社会的には許されませんが、二つ目は参議院選挙、県知事選挙、一音地方選挙など、民主的な県政、国政への転換の流れが、大きく変わってきています。この間のたたかいで、補助金カットの縮小や万博会場の見直し、藤前川埋め立て断念など、県民要求を前進させました。

**労働組合への期待を背に、大きな運動を**

銀行は優先的に債権を回収し、その結果、労働者の退職金は三分の一に値切られました。たまりかねて、連合の組合を脱退し、JMIUに加盟してたたかいは始めました。県や基準局は、労使の合意がある以上しかた



阿部議長あいさつ  
(要旨)

助金カットの縮小や万博会場の見直し、藤前川埋め立て断念など、県民要求を前進させました。一〇年目を節目に、築き上げた愛労連の財産を全体に広げ、大きな運動に発展させていきたいと思います。

### 要求実現の要は組織拡大・強化 10万人愛労連の早期達成を！



愛高教  
田中代議員



西三河  
桜井代議員

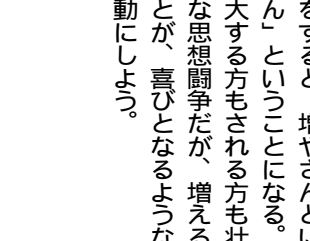
若い人は一〇年後の夢が描けない状況にある。自己啓発セミナーに多くの若者が参加している現状だ。こころの青年の問題を組合の中で見つめ直す必要がある。

組織拡大は、下りのエスカレーターを昇るための多忙の中で拡大を後回しにしたが、情勢学習会をすすめて増やさんと、かた」といっています。拡大する方も、増える方も大きな思想闘争が必要。活動にしよう。

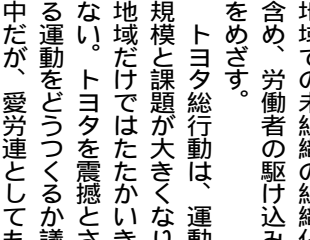


福保  
堀池代議員

強化の努力をお願いしたい。西三河ブロックでは、三月〇日、二日、七カ所での労働相対話を取り組んだ。その総括を踏まえ、ブロックの総会では、事務所・専従体制を定める、日常的に相談活動を、十日からの事務所を開き、労働相談日を設定し、地域での未組織の組織化を含め、労働者の駆け込み寺をめざす。



愛高教  
田中代議員



西三河  
桜井代議員

地域から見た克服すべき組織課題を述べたい。愛労連運動では、単産・地域対等という理念があるが、現実には金も人も単産中心。西三河労連は八〇〇人の組織だが、全部地域結集をすれば、四〇〇〇名になるはず。

「連合」を含めて多くの組合への対話と共同が大切だが、身近な仲間が結集し切れていない現実が深刻な理由は様々である。単産と活動を広げよう。活動にしよう。地域で駆け込み寺としての役割を果たすために組織



幹事会総括答弁  
見崎事務局長

大会では三名の代議員から発言があった。一日大会なので、掘り下げた議論ができないうえ、注文や意思統一を促すため、今後様々な機会を保障することを確認し、た。

代議員は基本的に原案賛成の立場で、方針を補強する発言だった。幹事会として今後の運動に生かしていき

第一に、情勢は大きく変化してきている。この情勢を攻勢的にたたかえば、職場や地域を変えようとするチャンスが大きく広がることが明らかになった。ゆえに、この情勢を攻勢的にたたかえば、職場や地域を変えようとするチャンスが大きく広がることが明らかになった。ゆえに、この情勢を攻勢的にたたかえば、職場や地域を変えようとするチャンスが大きく広がることが明らかになった。

**大会発言者 (32名)**

倉知代議員/建設一般、柿内代議員/自治労連、堀池代議員/福保、桜井代議員/西三河労連、栗生代議員/岡崎、額田代議員、武藤代議員/中センター、勅使河原代議員/全動労、近藤代議員/映産、黒島代議員/全国一、加藤代議員/医労連、田村代議員/JMIU、福田代議員/自治労連、吉原代議員/自治労連、原田代議員/東三河労連、横山特別代議員/婦人協、原田代議員/自治労連、二村代議員/愛高教、中川代議員/自治労連、茶屋代議員/年金者組合、鬼頭代議員/愛知国公、森代議員/医労連、駒田代議員/年金者組合、森代議員/運輸一般、堀池代議員/中センター、田中代議員/愛高教、長尾代議員/福保、村瀬代議員/一宮、佐藤代議員/尾中労連、赤塚代議員/尾中労連

のリストラのたたかいは、木村刃物や愛知後援の企業倒産のたたかい、ゼネコン職場での労働者連絡会の結成など、厳しい職場実態だが、労働者のたたかいは広がりをあきらめず、たたかう決意を確固たるものとしていこう。

また、この一年、四大証券は、倒産・吸収・合併など編成され、中小の証券は自主廃業や倒産に追い込まれ、労働者が職場を奪われていく。また、職場の解雇再雇用の資金ダウンなどもおこり、各地でたたかいは始まっている。アメリカ、財界本位の政治をやめさせるため、金融労働者の立場から、大同団結し署名行動など取り組んでいこう。

この一年、四大証券は、倒産・吸収・合併など編成され、中小の証券は自主廃業や倒産に追い込まれ、労働者が職場を奪われていく。また、職場の解雇再雇用の資金ダウンなどもおこり、各地でたたかいは始まっている。アメリカ、財界本位の政治をやめさせるため、金融労働者の立場から、大同団結し署名行動など取り組んでいこう。

99秋年末闘争

対話と共同を広げ 四課題をみんなの力で実現しよう

愛労連は、公務員の賃金確定闘争と一時金闘争を結合しながら、この秋、緊急に取り組むべき四つの課題で運動を広げます。

地域で介護学習会をやれば100%成功といわれるように、私たちが、県民や労働者と一致する要求で共同を広げれば、要求実現のチャンスは大きく広がります。職場や地域で学習を深め「共同」の運動を前進させましょう。



第1 雇用拡大・反失業・リストラ反対

すべての労働組合との共同で

工業出荷額全国一の愛知でも、最近の落ち込みは急激です。不況による中小企業の経営難や倒産で、雇用の失業状況は深刻になって

急激に増えている愛労連の労働相談で、「解雇」「パートの雇止め」「賃金不払い」「労働条件の一方的切り下げ」など労働者の悲痛な叫びが聞こえてき

化や、子会社化などで、労働者は整理解雇をはじめ、出向・配転・希望退職など

論と運動を地域から大きく広げることが必要です。また、政府が緊急雇用対策として「三〇万公的就労事業」を発足させました。

第2 介護保険拡充・年金改悪反対

地域要求持ちより自治体への運動を

来年四月から介護保険がスタートします。いま「本

ホームなどの介護基盤を早急にすすめることが大切です。また、四〇才から強制的に徴収される保険料、介護サービスを受けたら払う

秋の運動が焦点です。また、年金支給開始年齢の六五才切り下げ・賃金スライドの廃止や給付水準を

愛知県はゼネコン・大企業本位の開発行政が招いた「財政赤字」のツケを、万博・新空港はそのま

一定削減幅を縮小することができましたが、すでに、来年度予算での高齢者・障

員の選任がおこなわれま

第3 補助金カット反対 万博・新空港こそ見直せ 県政の民主的転換を



また、地労委民主化闘争では、五月十二日に名古屋地裁で「県は労働者・労働

運動を広げましょう。補助金カット反対要求署名を十一月一月議会に向

第4 戦争法発動を許さない

11・21小牧基地包囲行動の成功を

米軍による民間空港の使用、小牧基地や高蔵寺弾薬庫の強化など、危険な動き

11・17愛知総行動

地域の世論を変えよう

職場・地域から 総対話と共同を

組合員が切実な要求や思いを出し合えるように職場や地域での学習と討論をしよう。



10月18日～22日の介護を中心とする自治体キャラバンに単産・地域から積極的に参加しよう。

99秋年末闘争 とりくみ行事と日程

Table with 3 columns: Date, Event Name, Location/Details. Includes dates from 10/1 to 12/5 and various events like '10/1 国鉄「1の日」行動' and '11/1 国鉄「1の日」行動'.